

参 考 資 料

(第6回名古屋駅周辺まちづくり構想懇談会)

平成26年9月9日

第5回懇談会の主な意見

1. 広域的・国際的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す

- (1) 国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成する。
- (2) 玄関口にふさわしい風格と賑わいを感じさせる顔づくりを進める。
- (3) ビジネス拠点・交流拠点に必要な安全性を確保する。

- ・ 安心安全で暮らしやすい、人にやさしいまちづくりを考えていくということが重要ではないか。
- ・ 防災性の向上、浸水対策とか地下街の安全性の向上は、一番重要なものである。
- ・ 一時帰宅困難者について計画をもって頑張ってもらいたい。

2. 国際レベルの誰にも使いやすいターミナル駅をつくる

(1) 初めての人や外国人にもわかりやすいターミナル駅を形成する。

(2) リニアの速達性を活かすなど交通機関相互の乗換利便性を向上する。

- ・ 外から来る人だけでなく、地元の立場からも誰にも使いやすい駅、活気あふれるまちづくりが重要。
- ・ ターミナル駅の開発の場合には、東西をうまくネットワーク化することが何よりも重要。
- ・ 駅のより細かい部分についての現状把握として、先人が特に何を狙って基盤整備をやっていたのかということ、もう一度明らかに見直してあげると良いのではないか。
- ・ 線路上部も使うというそういう手段も視野に含めて、ターミナルスクエアを作れるような一体的な縦方向の空間をどこに位置付けるかということ、まず考えることが必要ではないか。
- ・ 使い易いということ乗換利便性を良くするということで、距離最短、アップダウン最小、視認性の高い空間の設計を是非お願いしたい。
- ・ 高速道路のアクセスについては、今のままでは具体的なイメージが湧かないので、引き続きご検討願えたらと思います。
- ・ 歩行者の目線、それから車でのアクセス、両方是非バランスのとれた計画を構想の段階で考えて頂きたいと思います。
- ・ バリアフリーだけではなく、ユニバーサルデザインの認識を持って、景観も十分意識しながら進めていく必要がある。
- ・ 2027年に向かって「駅をこうしようよ。」というものを明確に、具体的に出して、名古屋市の指導のもとで、JR東海、名鉄、近鉄、当事者が集まり、具体的にこうしようというところに駅を落とし込むことが一番大事なことです。

3. 中部圏の玄関口として、交流の拠点となり、多彩な魅力を持つまちへつなぐ

(1) 来訪者を迎え入れ、もてなす機能を充実させる。

(2) 他都市にない魅力を持った都市空間をつくる。

- ・わざわざ東京から買い物や観光に来てもらうためには、栄、名古屋城と連携して、都心中心で魅力を作る必要がある。
- ・名駅と栄を結ぶ軸線は大切であり、LRTなどの新たな交通手段の導入について前向きに検討をしてほしい。
- ・空中回廊的なものの整備の場合、駅の南北だけでなく、やはり周辺エリアへどう人を流すかといった動線を作って、周辺エリアを繋いでいただくような形にしていければと思います。
- ・現在の駅周辺のまちが持っているポテンシャルの芽を摘まないこと、それを前提に再開発や整備を進めていくことが大事ではないか。
- ・今まちが持っているポテンシャルを上手に活かし、地元の小さな事業者が個々でにぎわう余地を残して、再開発を進めていければと思っています。
- ・特に地域まちづくりにも力を注いでいただきたい。
- ・駅西側のことも少し書いた方が良くはないか。
- ・堀川とか中川運河の浄化について、今のままの状態で本当に良いのかが触れられていない。

4. リニア開通に向けて、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する。

(1) まちづくり構想を実現するため、行政がリーダーシップを発揮するとともに、行政と民間、民間相互など様々な主体が連携・協働してまちづくりを推進する。

- ・ これだけの事業主体が同時に動いて、尚且つ整合性をもった整備をするためには、相当早い段階で骨格に対する取り決めをする必要がある
- ・ これから起きる様々な開発に対して、できるだけ迅速にチェックしていく体制を予めしっかりと作っておくことが極めて重要である。
- ・ 行政・民間事業者が一緒になって行う仕事をどう仕分けて、これをどう組み立てるかということが極めて重要。
- ・ 様々な高低のレベルを合わせて、東西で全体をネットワーク化させていくということ、そしてネットワーク化させていくための協議を行政と民間事業者がしっかりと行うが重要。
- ・ 行政と民間業者のまちづくりが迅速に展開するように、役割分担の考えを整理してここをもう少し充実させる必要がある。
- ・ 地下街の議論と、地上の特に歩行者空間の整備について、もう少し個別に検討したほうが良いのではないかと。専門部会を作って行ってほしい。
- ・ 鉄道事業者や、いろいろな開発事業者の方達と関わりの中で、どの人がマネジメントを行っていくのかが非常に大切で、きちんと引っ張っていく体制を作ってほしい。
- ・ 時間軸を考えてどう実現していくかが一番重要だと思っております。
- ・ 民間の再開発等による都市機能の誘導については、民間だけではなかなか出来ないのでは、官民調整しながらやらなければいけないし、民間の中でも、バラバラではなく、調整をしながらやっていく必要があるのではないかと。
- ・ プロジェクト調整会議が相当な力を持って進めていかないと全体最適と云ったものになっていかない。大変重要な会議になる。
- ・ 今後、地域をはじめとする市民、それから利用者の声もしっかり聞いて頂きたい。